（様式⑦　小中学校）

確かな学びと豊かな心･健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立津久野小学校
校長　坂本　しのぶ

中学校区におけるめざす子ども像
・「確かな学び」他者の意見を聴き自分の考えを広げたり深めたりすることができる子ども・「豊かな心」正しい人権意識を持って行動し，自他の良さを認め合うことができる子ども・「健やかな体」
　心身の健康をはぐくみ，自他の生命を大切にできる子ども

令和８年度　重点目標
心豊かに，夢大きく，一人ひとりが輝く学校　　〇安心・自信・夢をはぐくむ学校　　〇「チーム力」を発揮し、地域とともに子どもを育てる学校
　「つながる（子ども・保護者・教職員・地域がさまざまな場面でつながる）・・・安心」「つづける（生活習慣・家庭学習の形成）・・・自信」「つくる（主体的に生きぬく自分）・・・夢」

「確かな学び」の現状
〇朝の学習に習慣的に取り組める児童が増えた一方で，基礎的基本的な学力に課題があり，一人で取り組むのが難しい児童もみられる。
〇始業開始に間に合わない児童や教室での学習では落ち着いて取り組むことが難しい児童がいる。
〇授業においてタブレットを活用している場面も増えている。ノートに自分の考えを書く機会をしっかり確保しつつ，効果的な活用場面を検討。
〇学校アンケートの結果，「授業中は、集中して勉強している。」の肯定評価が 82.8%ある一方で，「家で（学年×１０分）宿題を含め、勉強している。」の項目では，肯定評価が 68.5%と課題がある。

「豊かな心・健やかな体」の現状
〇高学年の委員会活動では，自分の役割を責任をもって果たす児童が多い。
〇なかよし活動では，思いやりのある縦のつながりがある。
〇学校生活に意欲的に取り組める児童が多いが、一部で安心して学校生活や学習に向かうのが難しい児童がいる。
〇進んで挨拶できる児童が多い一方で、乱暴な言葉使いや自分の気持ちをうまく説明できず、友達どうしのトラブルになる児童もいる。
〇好んで運動する子と運動しない子の二極化が進む。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組（●重点とする取組、★中学校区での取組）	判断基準（評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認（年度途中）		達成状況（年度末） 自己評価		達成状況（年度末） 学校関係者評価	
確かな学び	学びに向かう力	こどもが安心して学びに向かうことができる	担任だけでなく、全教職員で一貫した指導・支援ができるよう、定期的・継続的にこどもの様子を共有する機会を設定する。	「がんばって授業（学び）に向かう気持ちはありますか」肯定回答 80%以上	教師アンケート 児童アンケート	年度末						
			家庭とこどもの学びの実態を共有・連携し、そのこどもに応じた課題や家庭学習に取り組む。	・「学校のノートや連絡帳を毎日みていますか」肯定回答 70%以上 ・「毎日、家で宿題をしていますか」肯定回答 90%以上	学校（保護者）アンケート 児童アンケート	年度末						
	授業改善	自分で学びを進められるこどもの育成	●こども自身がアウトプットできる機会を設定できるよう単元構成を考える。また，１時間の授業において、こども自身が活動する時間（話す・聞く・書く・調べる等）を増やす。	・「授業中に友達と話し合ったり，ノートに自分の考えを書いたりしていますか」等，肯定回答 75%以上 ・年間３本の研究授業の実施 ・相互参観を複数回実施	児童アンケート 教師アンケート	年度末						
			研究授業の他、普段の授業を相互参観する機会を創出。									
豊かな心･健やかな体	心の教育	自分で決めた目標等に対して，最後までやり遂げられた成就感，達成感を得られるようにし，自尊感情を醸成する。	●褒める機会を積極的に増やし，こどもが意欲的に取り組める環境をつくる。	「自分にはよいところがあると思う」の質問に対して肯定評価 85%以上。	全国学力テスト IRT 調査 教師アンケート	年度末						
			「こころの健康観察」を活用し、こどもの心の状態や変化を早期に把握し、ゆっくり話を聞く時間や体制を整える。	児童アンケート「学校に安心して登校できる」の肯定評価 85%以上。	児童アンケート 教師アンケート	年度末						
	体力向上	運動が好きで，自分から進んで体を動かそうとする子どもを育成する。	運動量確保や筋力向上のため，授業での「サーキットトレーニング」や「かけあし運動」に取り組む。	体育の授業や体育的行事を通して，子どもたちの体力ののびをみる。	全国体力・運動能力，運動調査 日々の体育授業	年度末						
			「かけあしがんばりカード」の使用や，なかよし活動での大なわ大会を行い，学校全体で競い合い，児童の意欲を高める。	「運動することが好きだ」で肯定評価 80%以上。	学校アンケート	年度末						
地域協働	信頼される学校	教育活動の発信を積極的に行うとともに、地域の中にある学校として、地域人材の力を借りながら学校づくりを進める	地域人材を積極的に活用し、地域とともに歩む学校づくりを推進する	・地域人材をゲストティーチャーとして招いたり、堺学に系統的に取り組んだりする（地域のリソースを生かした生活科・総合的な学習の時間の展開の充実）	実践報告	年度末						
			★保幼小の交流、小中一貫教育の推進を行う	・保幼小での相互参観の実施 ・小中での相互参観の実施 ・幼小中での合同研修の実施	実践報告	年度末						